一般社団法人　宮城県情報サービス産業協会　令和2年度事業計画一覧　（委員会単位）

（人財委員会・育成G関係事業）－R02計画

事業		事業項目	内容	担当	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	収入予算	支出予算	備考
人財育成事業		新入社員から中堅社員まで一貫した教育によって生産性の高いエンジニアを養成するとともに、産学連携による教育カリキュラムによって先進技術を利活用できる高度IT人材を育成する		人財（委）育成G															
	新入社員研修	新入社員向け研修 （認定職業訓練） （Ⅰ－3－3.2－(1)）	各社のニーズをもとに新入社員の個人の技術力・理解度を高める内容に技術系コースの再編を行ったうえで、「認定職業訓練」として実施する。 [テーマ] ①ビジネス基盤養成　4月2日(木)～4月13日(月) ②システム開発技術者育成　4月14日(火)～6月2日(火) ③業務システム開発プロジェクト演習　6月3日(水)～6月23日(火) ④フォローアップ研修　8月26日（水）～8月27日（木）	人財（委）育成G		実施①②③			実施④	[次年度計画] 検　討			◎会員アナウンス準備				31，130千円 （受講料）	31，130千円 （講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費）	特記事項： ・認定職業訓練事業 ・受益者負担 ・仙台市中小企業活性化センター セミナールーム （仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 6 階） ・定員40名→50名
		ステップアップ研修 （Ⅰ－3－3.2－(1)）	新入社員研修後の継続的な教育サポートによって技術・知識の定着を図るステップアップ研修を実施する。(2テーマ予定) 新規事業のためテーマ検討中 テーマとしてはJavaフォローアップ研修（シルバー知識にステップアップ）、SQL、テスト等	人財（委）育成G			準備			○実施(1)								1，980千円 （受講料）	2，180千円 （講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費）	特記事項： ・受益者負担 ・仙台市中小企業活性化センター セミナールーム （仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 6 階） ・定員15名／コース
									準備		○実施(2)								
	リーダー研修	中堅社員向け研修 （Ⅰ－3－3.2－(2)）	技術に加えてプロジェクト管理や若手社員の指導等、企業現場の中核としての役割を負う中堅社員層を対象に、円滑な業務推進、マネージメントカの向上等に関わる実践的研修を実施する。(2日×3コース) 前年度テーマ ① SEのためのチームマネジメント研修 ②管理者・リーダー養成研修（組織マネジメント編） ③管理者・リーダー養成研修（課題解決思考編）	人財（委）育成G			準備			○実施(1)								1，980千円 （受講料）	2，220千円 （講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費）	特記事項： ・受益者負担 ・仙台市中小企業活性化センター セミナールーム （仙台市青葉区中央 1-3-1 AER 6 階） ・定員15名／コース
									準備		○実施(2)								
										準備		○実施(3)							
		次世代研修 （Ⅱ－1－(2)）	会員企業の若手から中堅社員を対象にワークショップスタルでイノベーティブなビジネスマインドの養成と人的交流の環境を構築する。(3回コース) 前年度テーマ 「デザイン思考」、基礎的な部分から、課題実践を通して問題解決を推進できる人材養成を実践した。	人財（委）育成G		準備		○実施(1)										450千円 （参加費）	690千円 （講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費）	特記事項： ・受益者負担 ・ 定員20名(オブザーバー10名)
							準備		○実施(2)										
										準備		○実施(3)							
	技術研修	技術紹介 （Ⅰ－3－3.2－(3)）	先進技術（AI・データアナリティクス、IoT、ブロックチェーンや情報セキュリティなど）や話題のエンジニアの講義・講演等による技術紹介を実施する。 前年度テーマ ①kintone利用「No-Code, Low-Code」アプリケーション開発 ②人手不足時代の救世主～RPAの基本の紹介とこれからの働き方～	人財（委）育成G		準備			○実施(1)									200千円 （参加費）	600千円 （講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費）	・受益者負担とする。 ・外部連携など、無料の研修も検討する
									準備			○実施(2)							
						（実施、会員アナウンスは随時）													
		技術研修 （Ⅰ－3－3.2－(4)）	先進技術を用いた実践的研修により高度ITエンジニアを育成する	人財（委）育成G			準備				○実施						400千円 （参加費）	600千円 （講師謝金 賃借料 委託費 印刷製本費）	・受益者負担とする。 ・外部連携など、無料の研修も検討する
								（実施、会員アナウンスは随時）										
	外部連携	外部連携スキーム検討 （Ⅰ－3－3.2－(5)）	技術革新のスピードが速く社会人が業務上必要な知識や技術をアップデートする新たな研修スキームを検討する。 ①教育機関等と連携した研修スキームの検討 ②関連業界と連携した研修スキームの検討 ③技術者が集まったり先進技術を扱えるコミュニティの検討	人財（委）育成G		○		○		○		○		○		○				※キーワード 先進技術、教育格差、リカレント教育

（注）1.事業項目欄の（）内は事業計画書本文の項目Noを示す。